

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 8月 3日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-235220

出 願 人

Applicant(s):

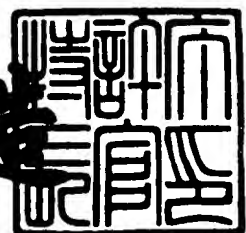
ソニー株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 5月25日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3045228

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000116504

【提出日】 平成12年 8月 3日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
内

【氏名】 飯間 伸

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
内

【氏名】 金巻 裕史

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100094053

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐藤 隆久

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014890

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707389

特 2 0 0 0 - 2 3 5 2 2 0

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 通信装置、通信システムおよびその方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

番組信号と付加信号とが混在した信号を受信する受信手段と、

前記受信した信号から、番組信号と付加信号とを分離する分離手段と、

前記付加信号に応じた出力の有無を決定する決定手段と、

前記付加信号に応じた出力を行うことが決定された場合に、前記分離された番組信号と前記付加信号とを用いて出力信号を生成し、前記付加信号に応じた出力を行わないことが決定された場合に、前記分離された番組信号を用いて出力信号を生成する出力信号生成手段と、

前記生成した出力信号に応じた出力を行う出力手段と

を有する通信装置。

【請求項 2】

前記付加信号に応じた出力の有無を決定した履歴を示す履歴情報を、前記受信した信号の送信元に送信する送信手段

をさらに有する請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記受信手段は、番組信号と広告信号とが混在した信号を受信する
請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 4】

番組信号と付加信号とが混在した信号を送信する第 1 の通信装置と、

前記第 1 の通信装置が送信した信号を受信する第 2 の通信装置と

を有し、

前記第 2 の通信装置は、

前記第 1 の通信装置が送信した信号を受信する受信手段と、

前記受信した信号から、番組信号と付加信号とを分離する分離手段と、

前記付加信号に応じた出力の有無を決定する決定手段と、

前記付加信号に応じた出力を行うことが決定された場合に、前記分離された番

組信号と前記付加信号とを用いて出力信号を生成し、前記付加信号に応じた出力を行わないことが決定された場合に、前記分離された番組信号を用いて出力信号を生成する出力信号生成手段と、

前記生成した出力信号に応じた出力を行う出力手段と
を有する
通信システム。

【請求項 5】

前記第 2 の通信装置は、
前記付加信号に応じた出力の有無を決定した履歴を示す履歴情報を、前記受信した信号の送信元に送信する送信手段
をさらに有し、
前記第 1 の通信装置は、
前記第 2 の通信装置から受信した前記履歴情報に基づいて、前記第 2 の通信装置のユーザに対しての課金処理を行う
請求項 4 に記載の通信システム。

【請求項 6】

前記第 1 の通信装置は、
番組信号と広告信号とが混在した信号を送信し、
前記第 2 の通信装置から受信した前記履歴情報に基づいて、前記第 2 の通信装置において前記広告信号に応じた出力が行われた場合に、前記番組信号の送信に対して前記第 2 の通信装置のユーザに課す料金を減額する処理を行う
請求項 5 に記載の通信システム。

【請求項 7】

前記第 1 の通信装置は、
前記第 2 の通信装置から受信した前記履歴情報に基づいて、前記第 2 の通信装置において前記付加信号に応じた出力が行われた場合に、前記番組信号の送信に対して前記第 2 の通信装置のユーザに課す料金を増額する処理を行う
請求項 5 に記載の通信システム。

【請求項 8】

前記第 1 の通信装置は、

予め決められた条件に従って、前記第 2 の通信装置のユーザに課金処理を行う
請求項 4 に記載の通信システム。

【請求項 9】

前記第 1 の通信装置は、

番組信号と広告信号とが混在した信号を送信する

請求項 4 に記載の通信システム。

【請求項 1 0】

ユーザによって操作される操作手段と、

前記ユーザによる前記操作手段の操作に応じて、付加信号を送信することを指
示する要求を発する送信手段と、

番組信号と、前記要求に応じた付加信号とが混在した信号を受信する受信手段
と、

前記受信した信号から、番組信号と付加信号とを分離する分離手段と、

前記分離された番組信号および付加信号を用いて出力信号を生成する出力信号
生成手段と、

前記生成された出力信号に応じた出力を行う出力手段と

を有する通信装置。

【請求項 1 1】

番組信号と付加信号とが混在した信号の受信側で、

前記受信した信号から、番組信号と付加信号とを分離し、

前記付加信号に応じた出力の有無を決定し、

前記付加信号に応じた出力を行うことが決定された場合に、前記分離された番
組信号と前記付加信号とを用いて出力信号を生成し、前記付加信号に応じた出力
を行わないことが決定された場合に、前記分離された番組信号を用いて出力信号
を生成し、

前記生成された出力信号に応じた出力を行う

通信方法。

【請求項 1 2】

前記受信側から送信側に、前記付加信号に応じた出力の有無を決定した履歴を示す履歴情報を送信し、

前記送信側において、前記履歴情報に基づいて、前記受信側のユーザに対しての課金処理を行う

請求項 1 1 に記載の通信方法。

【請求項 1 3】

前記送信側から前記受信側に、番組信号と広告信号とが混在した信号を送信し

前記送信側において、前記受信側から受信した前記履歴情報に基づいて、前記受信側において前記広告信号に応じた出力が行われた場合に、前記番組信号の送信に対して前記受信側のユーザに課す料金を減額する処理を行う

請求項 1 2 に記載の通信方法。

【請求項 1 4】

前記送信側において、前記受信側から受信した前記履歴情報に基づいて、前記受信側において前記付加信号に応じた出力が行われた場合に、前記番組信号の送信に対して前記受信側のユーザに課す料金を増額する処理を行う

請求項 1 2 に記載の通信方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、番組と共に自動的に送信される広告の出力形態を受信側で制御可能な通信装置、通信システムおよびその方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

現在、例えば、テレビやラジオによる番組の放送では、当該番組のスポンサーとなっている会社の広告が、送信側の制御に基づいて、番組と同時あるいは番組と番組の間に放送される。

また、ユーザからの要求に応じた情報をインターネットなどを介してサーバ装置から端末装置に提供するときに、ユーザが要求した情報を表示した画面の一部

に、ユーザの意思とは無関係に自動的にバーナー広告などが掲載される場合もある。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述した従来の広告の提供方法では、ユーザの嗜好および意思とは無関係に送信側から受信側に広告が提供されることから、自らが興味の無い多数の広告をユーザが受ける場合があり、ユーザにとって迷惑であるという問題がある。

【 0 0 0 4 】

本発明は上述した従来技術の問題点に鑑みてなされ、広告を受けるユーザ側で、広告などの付加情報の出力態様を制御できる通信装置、通信システムおよびその方法を提供することを目的とする。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

上述した従来技術の問題点を解決し、上述した目的を達成するために、第 1 の発明の通信装置は、番組信号と付加信号とが混在した信号を受信する受信手段と、前記受信した信号から、番組信号と付加信号とを分離する分離手段と、前記付加信号に応じた出力の有無を決定する決定手段と、前記付加信号に応じた出力を行うと決定された場合に、前記分離された番組信号と前記付加信号とを用いて出力信号を生成し、前記付加信号に応じた出力を行わないと決定された場合に、前記分離された番組信号を用いて出力信号を生成する出力信号生成手段と、前記生成した出力信号に応じた出力を行う出力手段とを有する。

【 0 0 0 6 】

第 1 の発明の通信装置の作用は以下のようになる。

受信手段によって、番組信号と付加信号とが混在した信号が受信される。

また、決定手段によって、前記付加信号に応じた出力の有無を決定される。

分離手段によって、前記受信した信号から、番組信号と付加信号とが分離される。

次に、出力信号生成手段によって、前記付加信号に応じた出力を行うと決定さ

れた場合に、前記分離された番組信号と前記付加信号とを用いて出力信号が生成され、前記付加信号に応じた出力を行わないと決定された場合に、前記分離された番組信号を用いて出力信号が生成される。

【 0 0 0 7 】

また、第 1 の発明の通信装置は、好ましくは、前記付加信号に応じた出力の有無を決定した履歴を示す履歴情報を、前記受信した信号の送信元に送信する送信手段をさらに有する。

【 0 0 0 8 】

また、第 1 の発明の通信装置は、好ましくは、前記受信手段は、番組信号と広告信号とが混在した信号を受信する。

【 0 0 0 9 】

また、第 2 の発明の通信システムは、番組信号と付加信号とが混在した信号を送信する第 1 の通信装置と、前記第 1 の通信装置が送信した信号を受信する第 2 の通信装置とを有し、前記第 2 の通信装置は、前記第 1 の通信装置が送信した信号を受信する受信手段と、前記受信した信号から、番組信号と付加信号とを分離する分離手段と、前記付加信号に応じた出力の有無を決定する決定手段と、前記付加信号に応じた出力を行うと決定された場合に、前記分離された番組信号と前記付加信号とを用いて出力信号を生成し、前記付加信号に応じた出力を行わないと決定された場合に、前記分離された番組信号を用いて出力信号を生成する出力信号生成手段と、前記生成した出力信号に応じた出力を行う出力手段とを有する。

【 0 0 1 0 】

また、第 2 の発明の通信システムは、好ましくは、前記第 2 の通信装置は、前記付加信号に応じた出力の有無を決定した履歴を示す履歴情報を、前記受信した信号の送信元に送信する送信手段をさらに有し、前記第 1 の通信装置は、前記第 2 の通信装置から受信した前記履歴情報に基づいて、前記第 1 の通信装置のユーザに対しての課金処理を行う。

【 0 0 1 1 】

また、第 2 の発明の通信システムは、好ましくは、前記第 1 の通信装置は、番

組信号と広告信号とが混在した信号を送信し、前記第2の通信装置から受信した前記履歴情報に基づいて、前記第2の通信装置において前記広告信号に応じた出力が行われた場合に、前記番組信号の送信に対して前記第2の通信装置のユーザに課す料金を減額する処理を行う。

【0012】

また、第2の発明の通信システムは、好ましくは、前記第1の通信装置は、前記第2の通信装置から受信した前記履歴情報に基づいて、前記第2の通信装置において前記付加信号に応じた出力が行われた場合に、前記番組信号の送信に対して前記第2の通信装置のユーザに課す料金を増額する処理を行う。

【0013】

また、第2の発明の通信システムは、好ましくは、前記第1の通信装置は、予め決められた条件に従って、前記第2の通信装置のユーザに課金処理を行う。

【0014】

また、第2の発明の通信システムは、好ましくは、前記第1の通信装置は、番組信号と広告信号とが混在した信号を送信する。

【0015】

また、第3の発明の通信装置は、ユーザによって操作される操作手段と、前記ユーザによる前記操作手段の操作に応じて、付加信号を送信することを指示する要求を発する送信手段と、番組信号と、前記要求に応じた付加信号とが混在した信号を受信する受信手段と、前記受信した信号から、番組信号と付加信号とを分離する分離手段と、前記分離された番組信号および付加信号を用いて出力信号を生成する出力信号生成手段と、前記生成された出力信号に応じた出力を行う出力手段とを有する。

【0016】

また、第4の発明の通信方法は、番組信号と付加信号とが混在した信号を放送したときの受信側で、前記受信した信号から番組信号と付加信号とを分離し、前記付加信号に応じた出力の有無を決定し、前記付加信号に応じた出力を行うと決定された場合に、前記分離された番組信号と前記付加信号とを用いて出力信号を生成し、前記付加信号に応じた出力を行わないと決定された場合に、前記分離さ

れた番組信号を用いて出力信号を生成し、前記生成された出力信号に応じた出力を行う。

【0017】

また、第4の発明の通信方法は、好ましくは、前記受信側から送信側に、前記付加信号に応じた出力の有無を決定した履歴を示す履歴情報を送信し、前記送信側において、前記履歴情報に基づいて、前記受信側のユーザに対しての課金処理を行う。

【0018】

また、第4の発明の通信方法は、好ましくは、前記送信側から前記受信側に、番組信号と広告信号とが混在した信号を送信し、前記送信側において、前記受信側から受信した前記履歴情報に基づいて、前記受信側において前記広告信号に応じた出力が行われた場合に、前記番組信号の送信に対して前記受信側のユーザに課す料金を減額する処理を行う。

【0019】

また、第4の発明の通信方法は、好ましくは、前記送信側において、前記受信側から受信した前記履歴情報に基づいて、前記受信側において前記付加信号に応じた出力が行われた場合に、前記番組信号の送信に対して前記受信側のユーザに課す料金を増額する処理を行う。

【0020】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態に係わる放送システムについて説明する。

図1は、本実施形態の放送システム61を説明するための図である。

図1に示すように、放送システム61は、例えば、放送局側の放送装置60と、ユーザ側の受信装置70、送信部80、履歴情報生成部81および操作部82とを有する。

ここで、受信装置70、送信部80、履歴情報生成部81および操作部82によって第1の発明の実施形態が構成され、放送システム61が第2の発明の実施形態に対応している。

また、放送装置60が第2の発明の第1の通信装置に対応し、受信装置70、

送信部 8 0、履歴情報生成部 8 1 および操作部 8 2 が第 2 の発明の第 2 の通信装置に対応している。

【0 0 2 1】

〔放送装置 6 0〕

放送装置 6 0 は、例えば、デジタル放送やストリーミング放送などを行う放送装置である。

放送装置 6 0 は、番組信号 P S と付加信号 A S とを混在した放送信号 S 6 0 を生成し、当該放送信号 S 6 0 を有線あるいは無線方式でユーザ側の受信装置 7 0 に放送する。本実施形態では、放送信号 S 6 0 は、例えばビットストリームである。当該付加信号 A S は、例えば、番組の解説などの信号や、広告の信号などである。

また、放送装置 6 0 は、ユーザ側の送信部 8 0 から履歴情報を受信し、当該履歴情報に基づいて、当該ユーザに対しての課金処理を行う。

【0 0 2 2】

具体的には、放送装置 6 0 は、受信した履歴情報に記述された、当該ユーザによるディスプレイ 7 6 への付加信号に応じた画像の表示に基づいて、当該ユーザに課す視聴料金を決定する。

例えば、放送装置 6 0 は、ユーザがディスプレイ 7 6 に、広告の付加信号に応じた画像を表示した場合には、有料の番組の視聴料金から所定の金額を減額した金額を当該ユーザに請求するように課金処理を行う。

また、放送装置 6 0 は、ユーザがディスプレイ 7 6 に、例えば、番組の他に、解説などの付加サービスを提供するための付加信号に応じた画像を表示した場合には、有料の番組の視聴料金に所定の金額を加算した金額を当該ユーザに請求するように課金処理を行う。

【0 0 2 3】

〔受信装置 7 0〕

図 1 に示すように、受信装置 7 0 は、例えば、受信部 7 1、フィルタ 7 2、番組信号用メモリ 7 3、付加信号用メモリ 7 4、ビデオ R A M 7 5、ディスプレイ 7 6 および制御部 7 7 を有する。

ここで、受信部 7 1 が第 2 および第 3 の発明の受信手段に対応し、フィルタ 7 2 が第 2 および第 3 の発明の分離手段に対応し図 1 に示す、操作部 8 2 が第 2 および第 3 の発明の決定手段に対応し、制御部 7 7 が第 2 および第 3 の発明の出力信号生成手段に対応し、ディスプレイ 7 6 が第 2 および第 3 の発明の出力手段に対応している。

【 0 0 2 4 】

受信部 7 1 は、放送装置 6 0 が送信した放送信号 S 6 0 を受信し、必要に応じて復調、復号および誤り訂正などの処理を行った後に、当該放送信号をフィルタ 7 2 に出力する。

フィルタ 7 2 は、受信部 7 1 から入力した放送信号内に混在する番組信号 P S と付加信号 A S とを分離し、分離した番組信号 P S を番組信号用メモリ 7 3 に書き込み、分離した付加信号 A S を付加信号用メモリ 7 4 に書き込む。

【 0 0 2 5 】

ビデオ R A M 7 5 は、制御部 7 7 からの制御に基づいて、番組信号用メモリ 7 3 から読み出された番組信号 P S と、必要に応じて付加信号用メモリ 7 4 から読み出された付加信号 A S とを出力用の画像信号として記憶する。

【 0 0 2 6 】

ディスプレイ 7 6 は、ビデオ R A M 7 5 から読み出された画像信号に応じた画像を表示する。

ディスプレイ 7 6 には、番組信号 P S に応じた画像の他に、操作部 8 2 を用いたユーザによる表示指示に応じて、付加信号 A S に応じた画像が必要に応じて表示される。

この場合に、付加信号 A S に応じた画像は、番組信号 P S に応じた画像と同時に（同じウィンドウ内あるいは番組のウィンドウの外）に表示されてもよいし、番組の途中に表示されてもよい。

【 0 0 2 7 】

制御部 7 7 は、操作部 8 2 を用いたユーザによる表示指示に応じて、番組信号用メモリ 7 3 から読み出した番組信号と、必要に応じて付加信号用メモリ 7 4 から読み出した付加信号 A S とをビデオ R A M 7 5 に書き込む。

【 0 0 2 8 】

操作部 8 2 は、例えば、ユーザが操作するリモコンなどであり、ユーザによる操作に応じた操作信号を制御部 7 7 に出力する。

【 0 0 2 9 】

〔送信部 8 0〕

送信部 8 0 は、履歴情報生成部 8 1 から入力した履歴情報（log）を、有線あるいは無線方式で放送装置 6 0 に送信する。

本実施形態では、送信部 8 0 は、履歴情報を電話回線を介して放送装置 6 0 に送信する。

【 0 0 3 0 】

〔履歴情報生成部 8 1〕

履歴情報生成部 8 1 は、操作部 8 2 からの操作信号と、制御部 7 7 からの制御履歴情報とに基づいて、ユーザによる付加信号に応じた画像の表示指示に応じて、当該表示指示の履歴を示す履歴情報を生成し、これを送信部 8 0 に出力する。

【 0 0 3 1 】

〔操作部 8 2〕

操作部 8 2 は、例えば、マウスやキーボードやリモートコントローラなどであり、付加信号に応じた画像の表示を行うか否か、または当該表示の形態などをユーザが指示するために用いられる。

【 0 0 3 2 】

以下、放送システム 6 1 の動作例を説明する。

図 2 は、図 1 に示す放送システム 6 1 の動作例を説明するためのフローチャートである。

ステップ S T 1 :

放送装置 6 0 において、番組信号 P S と付加信号 A S とを混在した放送信号 S 6 0 が生成され、当該放送信号 S 6 0 が有線あるいは無線方式でユーザ側の受信装置 7 0 に放送される。

【 0 0 3 3 】

ステップ S T 2 :

放送信号 S 6 0 は受信装置 7 0 の受信部 7 1 で受信され、受信部 7 1 において、復調、復号および誤り訂正などの処理が行われた後に、フィルタ 7 2 に出力される。

【 0 0 3 4 】

ステップ S T 3 :

受信装置 7 0 のフィルタ 7 2 において、放送信号 S 6 0 内に混在する番組信号 P S と付加信号 A S とが分離される。

【 0 0 3 5 】

ステップ S T 4 :

ステップ S T 3 で分離された番組信号 P S が番組信号用メモリ 7 3 に書き込まれると共に、分離された付加信号 A S が付加信号用メモリ 7 4 に書き込まれる。

【 0 0 3 6 】

ステップ S T 5 :

操作部 8 2 によって付加信号 A S に応じた画像を表示することを示す指示が出されている場合にはステップ S T 6 の処理が実行され、そうでない場合にはステップ S T 7 の処理が実行される。

【 0 0 3 7 】

ステップ S T 6 :

受信装置 7 0 の制御部 7 7 による制御によって、番組信号用メモリ 7 3 から読み出された番組信号 P S と、付加信号用メモリ 7 4 から読み出された付加信号 A S とが、出力用の画像信号としてビデオ R A M 7 5 に書き込まれる。

そして、ディスプレイ 7 6 に、番組信号 P S に応じた画像と、付加信号 A S に応じた画像とが表示される。

【 0 0 3 8 】

ステップ S T 7 :

受信装置 7 0 の制御部 7 7 の制御によって、番組信号用メモリ 7 3 から読み出された番組信号 P S が、出力用の画像信号としてビデオ R A M 7 5 に書き込まれる。

そして、ディスプレイ 7 6 に、番組信号 P S に応じた画像が表示され、付加信

号 A S に応じた画像は表示されない。

【 0 0 3 9 】

ステップ S T 8 :

履歴情報生成部 8 1 において、操作部 8 2 からの操作信号と、制御部 7 7 からの制御履歴情報とに基づいて、ユーザによる付加信号に応じた画像の表示指示の履歴を示す履歴情報が生成され、当該履歴情報が送信部 8 0 から放送装置 6 0 に送信される。

そして、放送装置 6 0 において、ユーザ側の送信部 8 0 から受信した履歴情報に基づいて、当該ユーザに対しての課金処理が行われる。

【 0 0 4 0 】

以上説明したように、放送システム 6 1 によれば、放送信号 S 6 0 に含まれる付加信号 A S に応じた画像をディスプレイ 7 6 に表示するか否かを、受信側でユーザが決定できる。すなわち、放送信号 S 6 0 に応じた画像の表示形態を、受信側で、ユーザの嗜好に合わせて決定できる。そのため、ユーザにとって魅力的なサービスを提供できる。また、放送局は、番組の放送の他に、付加信号 A S を用いて様々なサービスをユーザに提供でき、番組放送を種々のビジネスと結び付けることが可能になる。

【 0 0 4 1 】

また、放送システム 6 1 によれば、ユーザによる付加信号 A S に応じた画像の表示の有無を、番組サービスに対して課金する金額に反映させることで、ユーザによる当該サービスの利用を促進できると共に、番組放送以外の新たなビジネスを生み出すことができる。

【 0 0 4 2 】

本発明は上述した実施形態には限定されない。

例えば、上述した実施形態では、図 1 に示す受信装置 7 0 において、付加信号 A S を受信した後に、当該付加信号 A S に応じた画像の表示の有無を選択する場合を例示したが、ユーザによる操作部 8 2 の操作に応じて、ユーザが希望する付加信号 A S を特定した要求を送信部 8 0 から放送装置 6 0 に送信し、放送装置 6 0 が当該要求に応じた付加信号 A S を受信装置 7 0 に送信してもよい。

【 0 0 4 3 】

また、上述した実施形態では、放送装置 6 0 を用いて、番組信号 P S および付加信号 A S を含む放送信号 S 6 0 を受信装置 7 0 に送信する場合を例示したが、例えば、放送装置 6 0 の代わりに、インターネットなどのネットワークに接続されたサーバ装置を用い、受信装置 7 0 からの要求に応じて当該サーバ装置が画像および音声の情報を受信装置 7 0 に提供する場合にも本発明は適用可能である。

【 0 0 4 4 】

また、上述した実施形態では、ユーザ側での付加信号の表示に応じた放送装置 6 0 による課金処理は、例えば、予め行われた視聴契約や、送信部 8 0 および受信装置 7 0 と放送装置 6 0 との間の双方向通信に基づいて行ってもよい。

【 0 0 4 5 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、番組信号以外の付加信号の受信側で、当該付加信号の出力態様を制御できる通信装置、通信システムおよびその方法を提供できる。

そのため、受信側のユーザが興味の無い多くの付加情報が、受信側で自動的に出力されてしまうことを回避できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 は、本発明の第 1 実施形態の通信システムの構成図である。

【図 2】

図 2 は、図 1 に示す放送システムの動作例を説明するたべのフローチャートである。

【図 3】

図 3 は、図 1 に示す放送システムの動作例を説明するたべのフローチャートである。

【符号の説明】

6 0 …放送装置、 7 0 …受信装置、 7 1 …受信部、 7 2 …フィルタ、 7 3 …番組信号用メモリ、 7 4 …付加信号用メモリ、 7 5 …ビデオ R A M、 7 6 …ディス

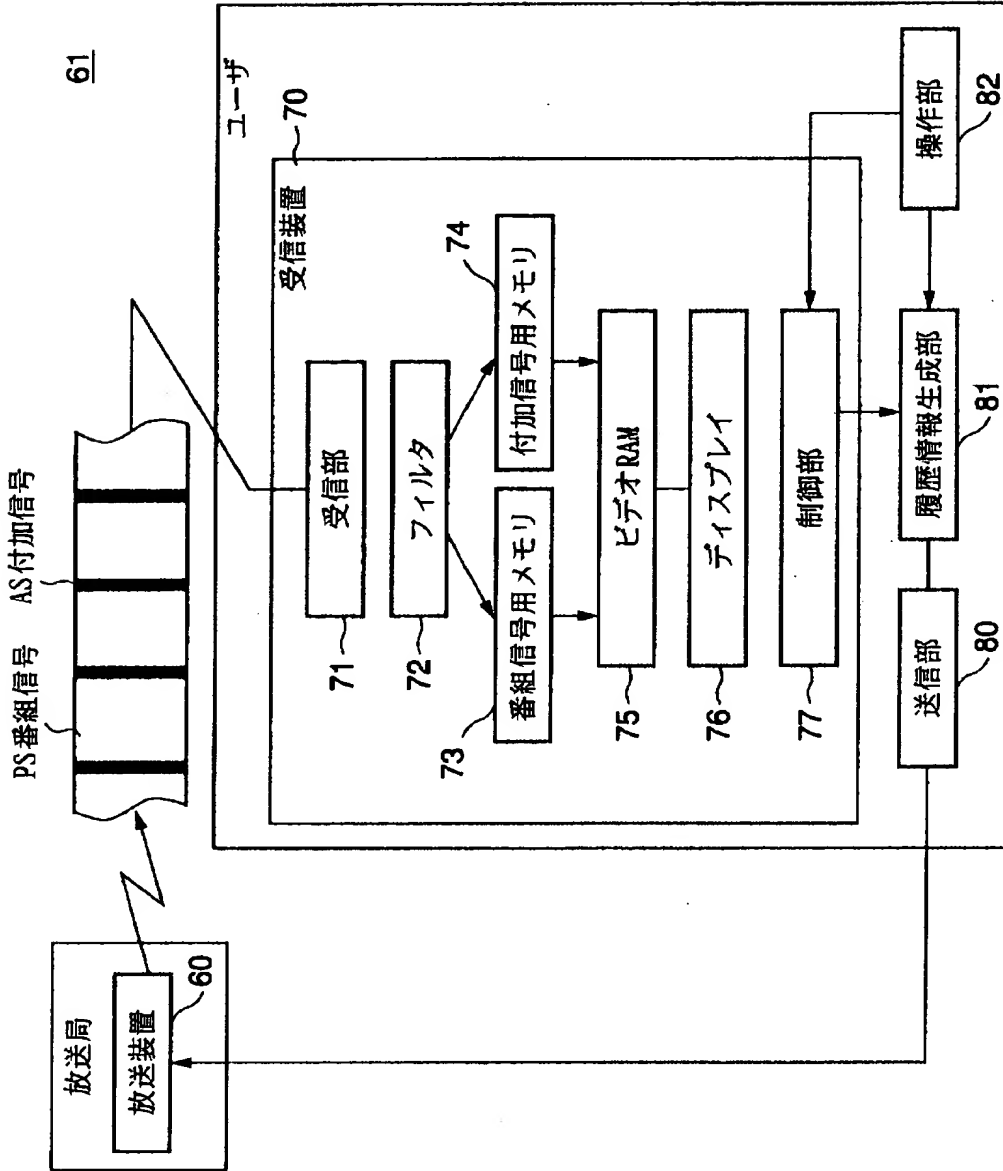
特 2 0 0 0 - 2 3 5 2 2 0

プレイ、 7 7 …制御部、 8 0 …送信部、 8 1 …履歴情報生成部、 8 2 …操作部

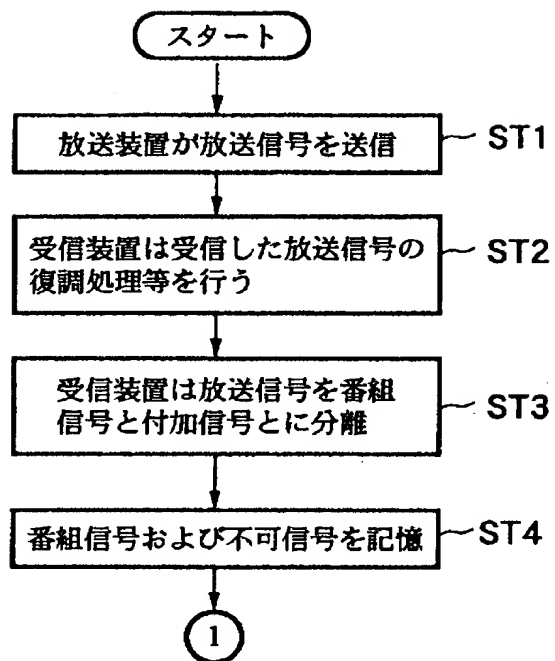
【書類名】

図面

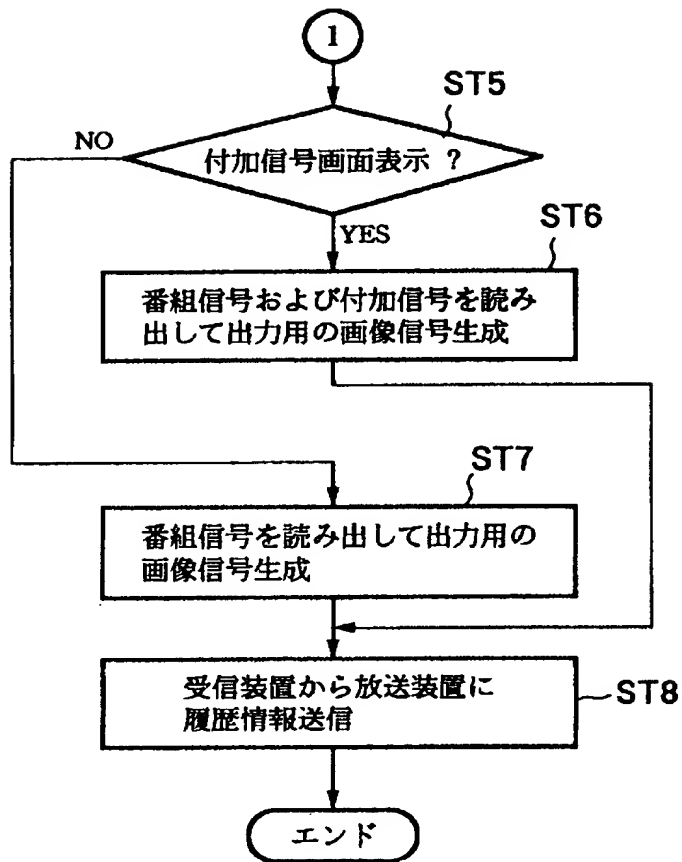
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 広告を受けるユーザ側で、広告などの付加情報の出力態様を制御できる通信装置、通信システムおよびその方法を提供する。

【解決手段】 受信部 7 1 によって受信された放送信号 S 6 0 か、フィルタ 7 2 によって、番組信号 P S と付加信号 A S とが分離される。番組信号 P S は番組信号用メモリ 7 3 に格納され、付加信号 A S は付加信号用メモリ 7 4 に格納される。ユーザによって付加情報を出力する旨の指示があった場合には、メモリから読み出した番組信号 P S と付加信号 P S とを用いて表示信号が生成され、そうでない場合には、メモリから番組信号 P S のみが読み出されて表示信号が生成される。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 2 1 8 5]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 3 0 日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号
氏 名	ソニー株式会社